

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	毎月フロアごとに目標を掲げ、実践していますが、体調管を視点においた目標が多い現状です。	5つの笑顔をより視点においた目標を掲げる。 ホーム独自の地域密着型サービスに沿った理念を掲げる。	毎月フロアごとに利用者の笑顔のために何をすればよいのか検討し、目標を掲げるようにする。 地域密着型サービスについての研修を行い、スタッフと協働しながらホーム独自の地域密着型サービスに沿った理念を掲げるようにする。	12ヶ月
2	No.15	積極的な個別外出支援はできているが、重度化で外出できにくい利用者が増えてき、ユニットごとの外出支援ができていない。一緒に生活している人たちが一緒に外出することができていない。	定期的にユニットごとの外出企画(遠足など)を考え、実行する。	9名の方の状況を把握し、外出企画の立案をする。 介助スタッフが足りない時は、ボランティア・家族などに依頼し、実現できるように協力してもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。